

衆議院国土交通委員会ニュース

【第204回国会】令和3年3月31日（水）、第8回の委員会が開かれました。

1 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律案（内閣提出第18号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）中央大学理工学部教授 山田正君
千葉大学大学院園芸学研究科教授 秋田典子君
武蔵野大学客員教授
アクアスフィア・水教育研究所代表 橋本淳司君
元日本福祉大学教授
国土問題研究会副理事長 磯部作君

（質疑者）築和生君（自民）、荒井聰君（立民）、吉田宣弘君（公明）、高橋千鶴子君（共産）、
井上英孝君（維新）、西岡秀子君（国民）

（質疑者及び主な質疑内容）

築和生君（自民）

- （1） 治水対策に係る協議における利害関係者の参画の現状と流域水害対策協議会が機能していく上で重要な事項についての山田参考人の見解
- （2） 水害リスクの低い地域への居住や都市機能の誘導など、まちづくりの取組の中に治水対策を包摂していく現状の取組の評価と今後取組を進めていく上で重要となる事項についての秋田参考人の見解
- （3） 治水対策への森林・林業関係者の参画状況及び土木部局と林務部局との連携状況に対する評価並びに今後の展望について橋本参考人の見解
- （4） 林業と治水の連携についての山田参考人の見解
- （5） ハザードマップの作成等の地域の主体性が求められる取組が住民本位や現場目線で行われてきたかどうかについての評価及び今後の展望についての磯部参考人並びに秋田参考人の見解

荒井聰君（立民）

- （1） 河川法第52条に利水ダムの事前放流を可能とする規定があるにもかかわらず、これまで事前放流が行われなかった理由についての山田参考人の見解
- （2） 地域の事情に即した防災教育の必要性及び植林事業による治水対策の効果についての橋本参考人の見解
- （3） 地域の水防災を担ってきたコミュニティの再構築の重要性についての秋田参考人の見解
- （4） 事前放流や避難のために、降雨予測、流域解析、水位情報、情報伝達的手段や人々の移動手段のこれまで以上の技術革新が必要であるとする磯部参考人の提案の具体的な内容

吉田宣弘君（公明）

- （1） 治水対策に重要となる降雨データの収集に必要な雨量計の設置の在り方及び課題についての山田参考人の見解
- （2） 治水対策へのAI等新技術の活用
ア 収集されたデータを治水対策につなげるための新技術の活用についての山田参考人の見解
イ ハザードマップの作成等における新技術の活用についての秋田参考人の見解

ウ 流域治水や雨水貯留浸透施設整備における新技術の活用についての橋本参考人の見解

- (3) 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び適切な実施に当たり行政が果たすべき最低限の役割についての磯部参考人の見解

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 流域治水において利害が対立する上流と下流の住民の合意について、円滑な合意の実現を進めるための山田参考人の考え
- (2) ハザードマップを住民の避難につなげるための情報提供の在り方についての秋田参考人の見解
- (3) 浸水被害防止区域が指定されても既存の住宅等は規制の対象外となることに伴う開発規制の有効性に対する橋本参考人の見解
- (4) 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）による災害の検証を踏まえたダム等による治水及びダムの事前放流の実効性に関する磯部参考人の問題意識
- (5) 住民参加により流域のダムの在り方を議論することについての磯部参考人の考え

井上英孝君（維新）

- (1) 地球温暖化が水災害に与える影響についての山田参考人の見解
- (2) 流域治水への主体性を育む学校教育及び社会教育の広め方についての秋田参考人の見解
- (3) 本法律案と昨年の防災まちづくりのための都市再生法等の改正との相乗効果についての秋田参考人の見解
- (4) 土砂崩れと森林伐採の因果関係及びその対策についての橋本参考人の見解
- (5) 災害時の避難に係る行政の役割及び責任についての磯部参考人の見解

西岡秀子君（国民）

- (1) 流域治水における治水計画の見直しの際に想定する雨量の考え方に対する山田参考人及び橋本参考人の見解
- (2) 科学的知見と地元の経験によるいわゆる集合知が期待される協議会とするために重要となる事項についての秋田参考人の見解
- (3) 行政と住民をつなぐ専門家の重要性についての秋田参考人の見解
- (4) 要配慮者利用施設や避難所となっている学校施設を危険地域から回避するための立地の在り方についての磯部参考人の見解
- (5) 豪雨災害に備えた土地利用の在り方についての橋本参考人の見解